



井上成信博士近影

井上成信博士略歴

昭和4年7月2日	広島県福山市で出生
昭和26年3月	岐阜大学岐阜農林専門学校農学科卒業
昭和26年4月	財団法人大原農業研究所助手（植物病理部）
昭和27年4月	岡山大学農学部附属大原農業研究所教務員（植物病理学部門）
昭和28年5月	岡山大学農学部附属大原農業研究所助手（植物病理学部門）
昭和28年8月	岡山大学農業生物研究所助手（附置研究所移行）
昭和37年1月	東北大学より農学博士の学位を授与（学位論文題目：コムギ赤カビ病の第一次発生の伝染機構並びに環境条件に関する研究）
昭和49年2月	岡山大学農業生物研究所助教授
昭和49年4月～平成7年3月	岡山大学大学院農学研究科担当
昭和51年4月～55年3月	日本植物病理学会報編集幹事
昭和53年4月～10月	オランダ国立植物保護学研究所（植物ウイルス学部門）招聘客員研究員としてオランダ国へ出張，併せてドイツ，ベルギー，イギリス，アメリカ合衆国の国々の各地大学及び研究機関を視察訪問
昭和53年11月～57年8月	国際ウイルス分類委員会，植物ウイルス分科会 Potyvirus 検討会委員（委員長：米国 Prof. Dr. Edwardson, J.R.）
昭和55年10月～56年3月	岐阜大学農学部講師（併任）
昭和55年11月～59年10月	日本植物病理学会関西部会会計監査役
昭和56年10月～57年3月	岐阜大学農学部講師（併任）
昭和57年3月～5月	台湾植物保護学研究センター招聘客員研究員として台湾へ出張
昭和58年8月13日～9月1日	第4回国際植物病理学会（メルボルン，オーストラリア）に出席し，研究発表を行うと共に，ニュージーランド国の大学及び農業研究機関を視察訪問
昭和59年4月～7月	カナダ国アルバータ大学植物ウイルス学教室客員教授としてカナダ国（Edmonton）へ出張，併せて第6回国際観賞用植物のウイルス病に関するシンポジウム（Cornell 大学，アメリカ）に出席
昭和59年11月～61年10月	日本植物病理学会関西部会幹事
昭和60年4月	岡山大学農業生物研究所教授（植物病理学部門）
昭和60年4月～62年3月	岡山大学大学院工学研究科担当
昭和61年10月～63年9月	岡山大学宿舍委員会委員
昭和61年11月～平成6年3月	日本植物病理学会関西部会会計監査役
昭和62年4月～平成7年3月	岡山大学大学院自然科学研究科担当
昭和62年5月～平成4年3月	財団法人大原奨農会評議員

昭和63年1月～4月7日	岡山大学資源生物科学研究所設置準備委員会委員
昭和63年4月～平成7年3月	岡山大学資源生物科学研究所教授（病態解析学：改組）
昭和63年5月26日～6月14日	第7回国際観賞植物ウイルス研究集会（イタリア，サンレモ市）に出席し研究発表すると共に，イタリア，フランス，オランダ，イギリス，シンガポール国の大学並びに農業研究機関を視察訪問
昭和63年8月29～30日	11th International Symposium of Virus Diseases of Legume Plants を主催（14ヵ国参加）．於倉敷ターミナホテル及び倉敷市立美術館
平成元年8月2日～8月12日	日本学術振興会，東南アジア諸国学術交流事業（熱帯作物のウイルス・フリー化に関する共同研究）による派遣としてインドネシア国へ出張
平成元年7月～2年2月	岡山大学40年史編纂委員
平成元年4月～3年3月	岡山大学広報委員会委員
平成元年6月～8年4月	日本植物病理学会植物ウイルス分類専門委員会委員
平成2年2月～10月	倉敷市立こども科学館展示計画等検討委員会委員
平成2年4月～4年3月	岡山大学附属図書館資源生物科学研究所分館長（併任）
平成2年4月～4年3月	岡山大学新中央図書館建設企画委員会専門委員会委員
平成2年4月～4年3月	岡山大学附属図書館運営委員会委員
平成2年7月21日～8月1日	日本学術振興会，東南アジア諸国学術交流事業（熱帯作物の健全種苗育成に関する研究）による派遣としてインドネシア国へ出張
平成4年1月	第50回山陽新聞賞（学術功労）を受賞（花卉植物に発生するウイルス病の研究）
平成4年4月～6年3月	岡山大学自然科学研究科運営委員会委員
平成4年5月	日本植物病理学会賞を受賞（花卉園芸植物特にラン科植物のウイルス病に関する研究）
平成4年7月16～18日	日本植物病理学会平成4年度感染生理談話会を主催．於倉敷市山陽ハイツ
平成5年4月～7年3月	岡山大学広報委員会委員
平成5年9月6～17日	ラン科植物ウイルス病の発生調査並びに技術指導のためタイ国及びシンガポール国へ出張
平成6年4月～8年4月	日本植物病理学会評議員（常任委員）
平成6年4月～8年3月	日本植物病理学会関西西部会幹事
平成6年10月20～21日	日本植物病理学会関西西部会を主催．於倉敷市芸文館
平成7年3月31日	岡山大学停年退職
平成7年4月～8年3月	日本植物病理学会関西西部会長
平成7年4月～8年3月	日本植物病理学会賞選考委員会委員
平成7年7月～10月15日	香川大学農学部講師

井上成信博士研究論文および著書目録

I. 研究論文・総説

- 1) 発生予察から見た昭和26年の天候と稲熱病の発生について(西門義一と共著). 農学研究 40:81-88 (1952).
- 2) 小麦赤黴病防除に関する研究(西門義一, 渡辺清志と共著). 昭和26年度農林省委託試験, 研究成果報告書 pp. 26 (1952).
- 3) 麦類赤カビ病菌の子のう胞子の飛散と第一次伝染(西門義一, 井上忠男と共著). 農学研究 40:121-126 (1952).
- 4) 小麦赤黴病防除に関する研究. (西門義一, 井上忠男, 渡辺清志と共著). 昭和27年度農林省委託試験, 研究成果報告書 I. pp. 26 (1953).
- 5) 発生予察から見た麦類赤黴病菌の子のう胞子飛散と天候との関係(西門義一, 井上忠男と共著). 昭和27年度農林省委託試験, 研究成果報告書 II. pp. 6 (1953).
- 6) 赤カビ病被害麦粒の毒性に関する研究 第1報(西門義一と共著). 農学研究 40:119-127 (1954).
- 7) 小麦赤カビ病の第一次発生に関する研究 第1報(西門義一と共著). 農学研究 41:131-139 (1954).
- 8) 小麦赤黴病防除に関する研究(西門義一, 井上忠男, 渡辺清志と共著). 昭和28年度農林省委託試験, 研究成果報告書 I: pp. 16, II: pp. 14 (1954).
- 9) 小麦赤カビ病の第一次発生に関する研究 第2報(西門義一, 渡辺清志と共著). 農学研究 42:133-142 (1955).
- 10) 麦類赤カビ病菌分生胞子の発芽に及ぼす植物ホルモンの影響(西門義一と共著). 農学研究 42:151-156 (1955).
- 11) 麦赤カビ病の発生予察に関する基礎的研究(西門義一, 渡辺清志と共著). 昭和29年度農林省委託応用研究, 研究成果報告書 pp. 18 (1955).
- 12) 小麦赤カビ病防除に関する研究(西門義一, 渡辺清志と共著). 昭和29年度農林省委託試験, 研究成果報告書 I: pp. 15, 研究成果報告書 II: pp. 24 (1955).
- 13) 稲イモチ病の発生頻度に対するかんがい水質の影響(西門義一, 小林純, 森次益三と共著). 農学研究 43:113-125 (1955).
- 14) 麦赤カビ病の発生予察に関する基礎的研究(西門義一と共著). 昭和30年度農林省委託応用研究, 研究成果報告書 pp. 15 (1956).
- 15) 小麦赤カビ病防除に関する研究(西門義一, 渡辺清志と共著). 昭和30年度農林省委託試験, 研究成果報告書 pp. 23 (1956).
- 16) アスター(翠菊)の灰色カビ病について(西門義一と共著). 農学研究 43:172-177 (1956).
- 17) 小麦赤カビ病の第一次発生に関する研究 第3報, 分生胞子の発芽と感染に及ぼす環境の影響(西門義一と共著). 農学研究 44:141-146 (1956).
- 18) 麦赤カビ病の流行機構に関する調査研究(西門義一と共著). 昭和31年度農林省委託応用研究, 研究成果報告書 pp. 15 (1957).

- 19) 小麦赤カビ病防除に関する研究(西門義一, 渡辺清志と共著). 昭和31年度農林省委託試験, 研究成果報告書 pp. 30 (1957).
- 20) 麦赤カビ病の流行機構に関する研究(西門義一, 吉富清志と共著). 昭和32年度農林省委託応用研究, 研究成果報告書 pp. 17 (1958).
- 21) 小麦赤カビ病防除に関する研究(西門義一と共著). 昭和32年度農林省委託試験, 研究成果報告書 pp. 18 (1958).
- 22) ヤマハンノキ芽枯病 (西門義一, 渡辺清志と共著). 農学研究 46:206-213 (1959).
- 23) 麦赤カビ病に関する生態学的研究 第1報, 子のう胞子の飛散と第一次感染の時期について (西門義一と共著). 農学研究 46:164-179 (1959).
- 24) 麦赤カビ病に関する生態学的研究 第2報, 子のう胞子の飛散と気象(1). (高須謙一と共著). 農学研究 46:184-192 (1959).
- 25) 植物病原菌の胞子飛散に関する研究 第1報, 新自動連続胞子採集装置 (高須謙一と共著). 農学研究 47:74-86 (1959).
- 26) 植物病原菌の胞子飛散に関する研究 第2報, 5, 6月の麦作地における状況. (高須謙一と共著). 農学研究 47:87-94 (1959).
- 27) 自動連続胞子採集装置 (高須謙一と共著). 植物防疫 13:400-402 (1959).
- 28) 麦赤カビ病に関する生態学的研究 第3報, 子のう胞子の飛散と気象(2). 農学研究 47:230-236 (1960).
- 29) 麦赤カビ病の一次感染と子のう胞子の飛散について. 農業及園芸 35:1807-1808 (1960).
- 30) 麦班葉モザイク病による大麦の不稔現象の病態観察 (井上忠男と共著). 農学研究 48:123-127 (1961).
- 31) 麦班葉モザイク病抵抗性大麦品種に対する圃場接種試験(井上忠男と共著). 農学研究 48:187-190 (1961).
- 32) 麦班葉モザイク病の防除に関する2, 3の実験(井上忠男と共著). 農学研究 49:1-7(1961).
- 33) コムギ赤カビ病の第一次発生の伝染機構並びに環境条件に関する研究. pp. 127. 白洋舎 (1962).
- 34) マメ類モザイク病ウイルスの同定 (井上忠男と共著). 昭和37年度科研 総合研究(A)「作物ウイルスの分類同定に関する研究」研究成果報告書 23~45 (1963).
- 35) Turnip mosaic virus の1系統によるナンキンマメの輪紋モザイク病 (井上忠男と共著). 農学研究 50:51-60 (1964).
- 36) マメ類モザイク病ウイルスの同定及び2, 3の他科植物から分離されたウイルスについて(井上忠男と共著). 昭和38年度科研 総合研究(A),「作物ウイルスの分類同定に関する研究」研究成績報告書 66-80 (1964).
- 37) ランのウイルス病について(I). *Cymbidium* に発生するウイルス病. 日本蘭協会誌 10:6-10 (1964).
- 38) コムギ赤カビ病の第一次発生の伝染機構並びに環境条件に関する研究 第4報, 子のう殻の吸水と子のう胞子の放出との関係. 農学研究 50:159-166 (1965).
- 39) コムギ赤カビ病の第一次発生の伝染機構並びに環境条件に関する研究 第5報, 自然状態における子のう殻の形成と気象条件. 農学研究 51:23-32 (1965).

- 40) ランのウイルス病について(II), *Cymbidium* に発生するウイルス病, 日本蘭協会誌 11: 1-6 (1965).
- 41) 洋ランのウイルス病について, 今月の農薬 9(12): 30-32 (1965).
- 42) A virus disease of *Cymbidium* caused by odontoglossum ringspot virus. Ber. Ôhara Inst. landw. Biol. Okayama Univ. 13: 149-159 (1966).
- 43) ランのウイルス病について(III), *Cattleya* に発生するウイルス病, 日本蘭協会誌 12: 2-5 (1966).
- 44) マメ類ウイルスの同定に関する研究及び2, 3のウイルスの性状並びに同定(井上忠男と共著), 昭和39・40年度科研 試験研究「農作物ウイルスの同定に関する研究」研究成績報告書 30-41 (1966).
- 45) キュウリ緑斑モザイクウイルスに関する研究 第1報, 病原ウイルスの同定, (井上忠男, 麻谷正義, 光畑興二と共著), 農学研究 51: 174-186 (1967).
- 46) キュウリ緑斑モザイクウイルスに関する研究 第2報, 伝搬に関する2, 3の実験(井上忠男, 麻谷正義, 光畑興二と共著), 農学研究 51: 187-197 (1967).
- 47) キュウリ緑斑モザイクウイルスに関する研究 第3報, メチルプロマイドによる土中のウイルスの不活化(井上忠男, 麻谷正義, 光畑興二と共著), 農学研究 51: 199-207 (1967).
- 48) Studies on cucumber green mottle mosaic virus in Japan (with Inouye, T., Asatani, M. and Mitsuhashi, K.). Ber. Ôhara Inst. landw. Biol. Okayama Univ. 14: 49-72 (1967).
- 49) 洋ランのウイルス病とその防ぎ方, 農耕と園芸 22(13): 109-111 (1967).
- 50) ランのウイルス病について(IV), ウイルスの伝搬と防除, 日本蘭協会誌 14: 3-6 (1968).
- 51) レンゲ萎縮病ウイルス(日野稔彦, 井上忠男, 光畑興二と共著), 農学研究 52: 1-9 (1968).
- 52) Virus disease of *Cymbidium* and *Cattleya* caused by cymbidium mosaic virus. Ber. Ôhara Inst. landw. Biol. Okayama Univ. 14: 161-170 (1968).
- 53) Cymbidium mosaic virus 及び odontoglossum ringspot virus の伝搬に関する2, 3の実験, 農学研究 52: 89-97 (1968).
- 54) レンゲ萎縮病ウイルスによるエンドウおよびソラマメの萎縮病(井上忠男, 光畑興二と共著), 日本植物病理学会報 34: 28-35 (1968).
- 55) ランのウイルス病について, 植物防疫 22: 427-431, Plate 1 (1968).
- 56) *Dendrobium* から分離された cucumber mosaic virus, 農学研究 53: 49-60 (1969).
- 57) 生長点培養によるウイルス病植物の無毒化(井上忠男と共著), 昭和44年度科研総合研究(A)「培養細胞における植物ウイルスの感染病理学的研究」研究成果報告書 49-54 (1970).
- 58) 生長点培養によるウイルス病植物の無毒化(井上忠男と共著), 昭和45年度科研総合研究(A)「培養細胞における植物ウイルスの感染病理学的研究」研究成果報告書 39-44 (1971).
- 59) ランのウイルス病について(V), *Dendrobium* に発生するウイルス病, 日本蘭協会誌 17: 3-7 (1971).

- 60) *Cattleya* 系の花のえそ症状株から分離されたウイルス. 農学研究 54: 71-78 (1972).
- 61) グリアに発生した tomato spotted wilt virus (井上忠男と共著). 農学研究 54: 79-90 (1972).
- 62) *Dendrobium* から分離された新ウイルス. 日本植物病理学会報 39: 367-368, 図版 1 (1973).
- 63) ランのウイルス病について(V), *Cattleya* 系のえそ病. 日本蘭協会誌 20: 3-5 (1974).
- 64) 洋ランのウイルス病のいろいろ. 今月の農業 18(11): 36-40 (1974).
- 65) *Dendrobium mosaic virus*. Ber. Ôhara Inst. landw. Biol. Okayama Univ. 16: 165-174 (1976).
- 66) タバコモザイクウイルスを用いた免疫走査電顕法 (公文裕巳, 宇野文夫, 筒井潔, 俵寿太郎と共著). 医学のあゆみ 97: 347-348 (1976).
- 67) 抗血清を利用した *cymbidium mosaic virus* および *odontoglossum ringspot virus* の診断法. 農学研究 56: 1-13 (1977).
- 68) エンドウから分離された lettuce mosaic virus について (杭田要, 井上忠男と共著). 農学研究 56: 33-44 (1977).
- 69) ラン科植物に発生するウイルス病について. 日本植物病理学会—北海道部会年報 5: 8-10 (1977).
- 70) Interaction effect of gamma rays and thermal neutrons on the inactivation of *odontoglossum ringspot virus* isolated from orchids (with Mori, I.). Ann. Rep. Res. React. Inst., Kyoto Univ. 10: 54-61 (1977).
- 71) アイリスから分離された turnip mosaic virus (光畑興二と共著). 農学研究 57: 1-16 (1978).
- 72) ユリから分離された citrus tatter leaf virus (前田孚憲, 光畑興二と共著). 日本植物病理学会報 45: 712-720 (1979).
- 73) Preliminary description of a potyvirus from *Vallota speciosa* (with Hakkaart, F. A.). Neth. J. Pl. Path. 86: 265-275 (1980).
- 74) 球根類花卉植物のウイルス病. 遺伝 34: 70-77 (1980).
- 75) わが国に発生した iris severe mosaic virus の性質 (宮地邦明, 光畑興二と共著). 日本植物病理学会報 47: 182-188 (1981).
- 76) ラン科及び球根類花き植物ウイルスの分類同定に関する感染細胞の電子顕微鏡的研究. 昭和54~55年度科研 (一般B) 研究成果報告書 pp. 36 (1981).
- 77) エビネから分離された cucumber mosaic virus (前田孚憲, 光畑興二と共著). 農学研究 60: 1-11 (1982).
- 78) *Cymbidium* から分離された *odontoglossum ringspot virus* の1系統の性質. 農学研究 60: 53-67 (1983).
- 79) テッポウユリから分離されたキュウリモザイクウイルスの性質 (前田孚憲と共著). 農学研究 60: 69-80 (1983).
- 80) 台湾のラン科植物におけるウイルス病の発生調査 (呂理榮と共著). 農学研究 60: 91-110 (1983).
- 81) 日本において分離されたキュウリモザイクウイルスの血清学的性質 (前田孚憲, 脇本

- 哲と共著). 日本植物病理学会報 49:10-17 (1983)
- 82) 稲群落における微生物の浮遊状況 (前田孚憲と共著). 昭和58年度 特定研究「作物群落における浮遊粒子状物質の動態と作物の生理生態に与える影響に関する研究」研究成果報告書 26-36 (1984).
- 83) 生長点組織培養によるウイルス罹病 *Cymbidium* の無毒化と抗血清処理の効果. 農学研究 60:123-133 (1984).
- 84) ユリから分離されたチューリップモザイクウイルスの1系統 (前田孚憲, 光畑興二と共著). 農学研究 60:135-146 (1984).
- 85) ランのウイルス病について(VII), 組織培養を用いたウイルス罹病 *Cymbidium* の無毒化に及ぼす抗血清処理の効果. 日本蘭協会誌 29(2):3-7 (1984).
- 86) 花き植物のウイルス. 遺伝, 特別号ウイルス 38:201-214, グラビヤ 2頁 (1984).
- 87) やさしいウイルス学(6), ランのウイルス病(1). ガーデンライフ 23(6):84-87, カラー写真:52-53 (1984).
- 88) やさしいウイルス学(7), ランのウイルス病(2). ガーデンライフ 23(7):45-48. (1984).
- 89) Virus infecting bulbous iris, A clarification of nomenclature (with Hammond, J., Brunt, A.A., Derks, A.F.L.M., Barnett, O.W., Allen, T.C. and Lawson, R.H.). Acta Horticulturae No. 164:395-397 (1985).
- 90) キュウリモザイクウイルスおよびその D-Protein に対する抗血清の性質 (前田孚憲と共著). 日本植物病理学会報 51:8-15 (1985).
- 91) Insolubilization of cucumber mosaic virus with glutaraldehyde and its use for isolation of specific antibody (with Maeda). Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 51:312-314 (1985).
- 92) クロッカスから分離された tobacco rattle virus の性質 (前田孚憲, 光畑興二と共著). 農学研究 61:105-118 (1986).
- 93) エビネに発生するウイルスの基礎知識. 自然と野性ラン 5:71-79 (1986).
- 94) 植物ウイルスと宿主との相互関係—Potyvirus 群ウイルスについて. 岡山大学農業生物研究所, 農業生物シンポジウム「生物間相互作用」p. 1-8 (1986).
- 95) 酵素結合抗体法 (ELISA) によるキュウリモザイクウイルスの検出～二重抗体法による種々の酵素標識抗体法の評価 (前田孚憲と共著). 農学研究 61:119-127 (1986).
- 96) レンテミンの odontoglossum ringspot virus 感染阻害効果試験. 昭和60年度日本植物防疫協会委託試験, 「抗植物ウイルス剤の検定技術に関する試験」研究成果報告書 22-26 (1986).
- 97) 植物ウイルスに対する花き植物の反応 (前田孚憲と共著). 昭和59～61年度特定研究「各種ストレスに対する植物の応答解析と耐性種の検索」研究成果報告書 72-80 (1987).
- 98) Differentiation of two serotypes of cucumber mosaic virus in Japan by F(ab')₂ ELISA with cross-absorbed antibodies (with Maeda). Ber. Ôhara Inst. landw. Biol. Okayama Univ. 19:149-157 (1987).
- 99) スターチスに発生した turnip mosaic virus と cucumber mosaic virus について (飯野尚之, 前田孚憲と共著). 農学研究 61:171-184 (1987).

- 100) レンテミン剤によるウイルス病の防除効果試験. 昭和61年度 日本植物防疫協会委託試験. 「抗植物ウイルス剤の検定技術に関する試験」. 研究成果報告書 5-8 (1987).
- 101) A strain of clover yellow vein virus isolated from *Calanthe* sp. (with Maeda, T. and Mitsuhashi, K.). *Acta Horticulturae* 234 : 61-68 (1988).
- 102) Isopycnic separation of potyviral cylindrical inclusions by sucrose potassium tartrate density gradient centrifugation (with Noda, C. and Maeda, T.). *Ann. Phytopathol. Soc. Jpn.* 54 : 319-322 (1988).
- 103) シンビジウムの ORSV モザイク病に対するエドレンスの防除効果. 昭和62年度日本植物防疫協会委託試験「抗植物ウイルス剤の検定技術に関する試験」研究成果報告書 1-4 (1988).
- 104) シンビジウムの ORSV モザイク病に対する JT8601の防除効果. 昭和62年度日本植物防疫協会委託試験「抗植物ウイルス剤の検定技術に関する試験」研究成果報告書 43-46 (1988).
- 105) A new serotype of sweet clover necrotic mosaic virus (with Pappu, H.R. and Hiruki, C.). *Phytopathology* 78 : 1343-1348 (1988).
- 106) Production of monoclonal antibodies to cucumber mosaic virus and their use in enzyme-linked immunosorbent assay (with Maeda, T. and Sako, N.) *Ann. Phytopathol. Soc. Jpn.* 54 : 600-605 (1988).
- 107) ヒャクニチソウのモザイクとカラーブレイキング病の病原ウイルス (前田孚憲, 光畑興二と共著). *農学研究* 61 : 227-243 (1989).
- 108) Leek yellow stripe virus の dot immunobinding assay による検出並びにその診断への利用 (野田千代一・前田孚憲と共著). *農学研究* 61 : 269-277 (1989).
- 109) 抗ウイルス剤 JT8601によるシンビジウムの ORSV モザイク病の接触伝染防止効果 (光畑興二と共著). 昭和63年度 日本植物防疫協会委託試験「抗植物ウイルス剤の検定技術に関する試験」研究成果報告書 3-6 (1989).
- 110) Leek yellow stripe virus isolated from an ornamental *Allium* plant in Japan (with Noda, C.). *Ann. Phytopathol. Soc. Jpn.* 55 : 208-215 (1989).
- 111) Comparative electron microscopy of *Chenopodium quinoa* leaves infected with apple chlorotic leaf spot, apple stem grooving, or citrus tatter leaf virus (with Ohki, S.T. Yoshikawa, and Inouye, T.). *Ann. Phytopathol. Soc. Jpn.* 55 : 245-249 (1989).
- 112) Nucleotide sequence of cell-to-cell transport protein gene of odontoglossum ring-spot virus (with Isomura, Y., Matsumoto, Y., Murayama, A., Chatani, M., and Ikegami, M.). *Nucleic Acid Research*, 18 : 7448 (1990).
- 113) ランの病害. *植物防疫* 44 : 177-181. グラビア1 (1990).
- 114) オオムギ縞萎縮病の汁液接種検定並びに診断 (前田孚憲, 光畑興二と共著). *農学研究* 62 : 139-149 (1990).
- 115) オオムギ縞萎縮病の汁液接種検定法並びに診断に関する研究 (前田孚憲, 光畑興二と共著). 昭和62~平成元年度特定研究「資源生物機能の解析と制御に関する研究」研究成果報告書 14-18 (1990).

- 116) 植物ウイルス和名リストについて (都丸敬一, 亀谷満朗, 土居養二, 大木 理, 四方英四郎, 高橋 壮, 土崎常男, 山下修一と共著). ウイルス 40: 1-7 (1990).
- 117) 花卉植物ウイルスの命名並びに分類基準の確立. 1) スターチスの同一株から分離された違った病徴を発現する 2 種の cucumber mosaic virus, 2) エビネから検出されたウイルス, 3) クロッカスのモザイク病株から分離された bean yellow mosaic virus, 4) アルストロメリアから検出された 2 種のウイルス (前田孚憲と共著). 平成元~2 年度 科研 (総合研究 A) 「植物ウイルス・ウイロイドの命名および分類基準の確立に関する総合研究」研究成果報告書 149-175 (1991).
- 118) Rapid detection of cucumber mosaic virus by a simplified F(ab')₂ ELISA using PEG (with Maeda, T.). Ber. Ôhara Inst. landw. Biol. Okayama Univ. 20: 19-26 (1991).
- 119) ORSV に対するレンテミン液の防除効果試験. 平成 3 年度 日本植物防疫協会一般委託試験「抗植物ウイルス剤の検定技術に関する試験」研究成果報告書 (V. 近畿・中国地域一殺菌剤関係) 112-113 (1991).
- 120) Cooperative research on virus-free tropical plant protection (with Maeda, E., Sako, N., Mii, M. and Miyake, H.). Report of Overseas Visits. Southeast Asian Cooperative Program in the Agricultural Sciences (1989. 4~1990, 3.) 1-5 (1991).
- 121) スターチスの同一株から分離された違った病徴を発現する 2 種の cucumber mosaic virus について (前田孚憲, Huttinga, H., 光畑興二と共著). 農学研究 62: 209-223 (1991).
- 122) クロッカスから分離された bean yellow mosaic virus (BYMV) 諸性質並びに BYMV 3 系統の血清学的類縁関係 (兼重 寛, 前田孚憲と共著). 農学研究 62: 225-240 (1991).
- 123) Molecular cloning, sequencing and expression in *Escherichia coli* of the odontoglossum ringspot virus coat protein gene. (with Isomura, Y., Matsumoto, Y., Murayama, A., Chatani, M., and Ikegami, M.). Jour. Gen. Virol. 72: 2247-2249 (1991).
- 124) キュウリモザイクウイルスの P 血清型系統の病原性並びに誘導抵抗性 (前田孚憲と共著). 平成元~3 年度特定研究「生物相互における情報認識と応答反応に関する研究」研究成果報告書 70-75 (1992).
- 125) Cooperative study on production of virus free tropical crops (with Taniguchi, T., Hosokawa, D., Miyake, M. and Natsuaki, K.). Report of Oversea Visits. Southeast Asian Cooperative Program in the Agricultural Sciences (1990. 4~1991, 3.). 1-6 (1992).
- 126) 東洋ラン *Cymbidium* 属植物から分離された odontoglossum ringspot Tobamovirus (ORSV) について (近藤秀樹, 前田孚憲と共著). 岡大資生研報 1: 21-34. (1992).
- 127) 花卉園芸植物から検出された Potyvirus 群ウイルスの宿主反応の研究 (光畑興二・前田孚憲と共著). 平成元~3 年度特定研究「生物相互における情報認識と応答反応に関する研究」研究成果報告書 81-87 (1992).
- 128) ランに多発するウイルス病と防除. 平成 4 年度野菜病害虫防除研究会シンポジウム, 「花き病害の発生動向と防除の展望」26-33 (1992).
- 129) On virus diseases of orchids in Japan. Proceeding of the International Orchid

- Congress '92. p. 51-59 (1992).
- 130) 花卉園芸植物特にラン科植物のウイルス病に関する研究. 日本植物病理学会報 58 : 505-507 (1992).
 - 131) 蛍光基質あるいは酵素サイクリング法を用いた ELISA によるキュウリモザイクウイルスの高感度検出 (前田孚憲と共著). 岡大資生研報 1 : 167-174 (1993).
 - 132) Viruses of orchids in Indonesia, 「Production of Virus-Free Tropical Crops」. NODAI Center for International Programs, JSPS-DGHE Program. 32-39 (1993).
 - 133) Striking similarities between the nucleotide sequence and genome organization of citrus tatter leaf and apple stem grooving capilloviruses (with Yoshikawa, N., Imaizumi, M., Takahashi, T.). Jour. Gen. Virol. 74 : 2743-2747 (1993).
 - 134) ウイルス病とたたかう, 華麗なる蘭. グリーンレポート (全国農業協同組合編) No. 215 : 14-16 (1994).
 - 135) 各種ウイルスに対するシロイヌナズナ (*Arabidopsis thaliana*) 4 エコタイプの反応 (光畑興二, 前田孚憲, 本吉総男と共著). 平成 4 ~ 6 年度特定研究「環境及び病害虫耐性に関わる遺伝子の探索と解析に関する研究」研究成果報告書 57-62 (1995).
 - 136) 東洋ラン (*Cymbidium* sp.) から分離された orchid fleck virus の性状について (近藤秀樹, 松本純一, 前田孚憲と共著). 岡大資生研報 3 : 151-161 (1995).
 - 137) エビネ (*Calanthe* sp.) から分離された odontoglossum ringspot virus (松本純一・前田孚憲と共著). 岡大資生研報 3 : 163-174 (1995).
 - 138) The nucleotide sequence of the 3'terminal region of clover yellow vein Potyvirus isolated from *Calanthe* sp. (with Ikegami, M., Isomura, Y. and Maeda, T.). Jour. Phytopath. 143 : 385-390 (1995).
 - 139) The complete nucleotide sequence of odontoglossum ringspot virus (Cy-1 strain) genomic RNA (with Ikegami, M., Isomura, Y., Matsumoto, Y., Chatani, M.). Microbiology and Immunology 39 : 995-1001 (1995).
 - 140) Detection and identification of viruses of orchids in Indonesia (with I Wayan Gara). Bull. Res. Inst. Bioresour. Okayama Univ. 4 : 107-116 (1996).
 - 141) エビネ類に発生する黄色斑紋モザイク病の病原, orchid fleck virus について (松本純一, 前田孚憲, 光畑興二, 近藤秀樹, 田原望武と共著). 岡大資生研報 4 : 117-133 (1996).
 - 142) Genomic organization of odontoglossum ringspot virus (Cy-1 strain) RNA and comparison with that of Korean strain (with Ikegami, M.). Bull. Res. Inst. Bioresour. Okayama Univ. 4 : 135-146 (1996).
 - 143) 東洋ランに発生するウイルスの検索・同定 (近藤秀樹, 前田孚憲, 光畑興二と共著) 岡大資生研報 4 : 147-160 (1996).
 - 144) Further characterization of cymbidium mosaic virus from *Vanda* orchid. (with I Wayan Gara, Kondo, H. and Meda, T.) Bull. Res. Inst. Bioresour. Okayama Univ. 4 : 161-172 (1996).
 - 145) キュウリモザイクウイルスの血清型と病原性との関連性 (前田孚憲, 光畑興二と共著). 岡大資生研報 4 : 173-183 (1996).

- 146) エビネ (*Calanthe* spp.) から分離された cymbidium mosaic virus (松本純一, 占部慎治, 前田孚憲, 光畑興二, 近藤秀樹, 田原望武と共著). 岡大資生研報 4 : 185-197 (1996).
- 147) Characterization of bean yellow mosaic virus from *Ixia hybrida* (with Tsuji, T., Maeda, T. and Kondo, H.) Bull. Res. Inst. Bioresour. Okayama Univ. 4 : 199-211 (1996).
- 148) 茨城県でダイズから分離されたアズキモザイクウイルスの諸性質 (高橋幸吉, 前田孚憲, 光畑興二, 千田茂樹, 高橋善行と共著). 岡大資生研報 4 : 213-225 (1996).
- 149) コムギうどんこ病菌の種内交雑におけるオオムギおよびカモシグサに対する病原性菌系の作出 (部田英雄と共著). 岡大資生研報 4 : 227-235 (1996).
- 150) Six new subgroup I members of Japanese cucumber mosaic virus as determined by nucleotide sequence analysis on RNA3's cDNAs (with Chaumplik, P., Sasaki, Y., Nakajima, N., Nagano, H., Nakamura, I., Suzuki, K., Mise, K., Okuno, T. and Furusawa, I.). Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 62 : 40-44. (1996).
- 151) Properties of bean yellow mosaic virus from *Calanthe* sp. (Orchidaceae) in Japan. (with Matsumoto, J., Maeda, T. and Tahara, M.). Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. (submitted)
- 152) Turnip mosaic virus, the cause of chlorotic streak mosaic disease of *Calanthe* spp. in Jpn. (with Matsumoto, J., Maeda, T., and Tahara, M.) Ann. Phytopath. Soc. Japan. (in preparation)
- 153) Characterization of clover yellow vein potyvirus strains by host reactions, serology and peptide mapping. (with Sasaya T. and Koganezawa, H.) Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. (in preparation)
- 154) Biological, serological, and molecular analysis of an isolate of Clover yellow vein potyvirus inducing severe necrosis in Gentian. (with Sasaya, T., Kaji, K., Natsuaki, T. and Koganezawa, H.) Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. (in preparation)

II. 著 書

- 1) ランのウイルス病
「洋ラン」(日本蘭協会編) : 207-221. 誠文堂新光社, 東京 (1972).
- 2) 洋ラン類のウイルス病
「原色図説 花と花木の病害虫」(河村貞之助他編) : 258-262. 博友社, 東京 (1976).
- 3) 花き球根類並びにラン科植物に発生する各種ウイルスについて
「植物ウイルス事典」(興良清他編) : 289-290, 310-311, 318-319, 354-355, 379, 388-389, 396, 414-415. 朝倉書店, 東京 (1983).
- 4) ラン類の病害
「作物病害虫ハンドブック」(梶原敏宏他編) : 642-649. 養賢堂, 東京 (1986).
- 5) ランのウイルス
「生物学辞典」(微生物学協会編) : 1143-1144. 報堂出版, 東京 (1989).

- 6) 花卉植物に発生するウイルス病の診断
「花のバイオ技術」(新美芳二編)：161-171. 誠文堂新光社. 東京 (1992).
- 7) サギソウ, トケイソウ, アイリス, アリウム, グロリオサ, ユリ, エビネ, カトレヤ, コルマナラ, シンビジウム, デンドロビウム, バンダ, ファレノプシスに発生する各種ウイルス病, 及びカラー図版34枚病徴写真
「植物ウイルス病事典」(土崎常男他編)：459, 474, 523-526, 530, 541-553, 565-569, 571-576, 579-587. 図版：32-33, 38-39, 41-43. 全国農村教育協会, 東京 (1993).
- 8) 植物ウイルスによる花の病徴 (写真4)
「週間朝日百科“植物の世界”」(大場秀章監修)：2=318. 朝日新聞社. 東京 (1994).
- 9) 西門義一博士 (目瀬守男と共著)
「岡山県歴史人物事典」(岡山県歴史人物事典編纂委員会)：741. 山陽新聞社, 岡山 (1994).
- 10) 病気の診断と病原体の同定一判別植物
「植物病理学事典」(日本植物病理学会編)：207-210. 養賢堂, 東京 (1995).
- 11) ラン科植物 (カトレヤ, シンビジウム, デンドロビウム, バンダ, ファレノプシス, コルマナラ, エビネ), アリウム, ユリ及びクロッカスに発生する各種ウイルス病
「作物病害辞典」(岸国平編)：原稿投稿中, 全国農村教育協会, 東京 (1997, 再版予定)

III. その他

- 1) 洋ランのウイルス病について. 善通寺市花卉園芸研究会, 園芸資料 No. 1：pp. 8 (1969).
- 2) カトレヤのウイルス病について. ガーデンライフ 11(10)：64 (1972).
- 3) 井上成信博士の研究紹介：ランとユリのウイルス病に取り組む. 農耕と園芸 36(9)：31-33 (1981).
- 4) ウイルス症状が消えた. といっても治ったわけではありません. 井上成信博士の研究取材記事, ガーデンライフ No. 154：54 (1989).
- 5) 日本に発生するランのウイルス病一病徴による見分け方. (野田食菌 KK 企画部編) pp. 3 (1989).
- 6) 花卉園芸植物に発生する新病害ウイルスの検索と同定並びに外被タンパク質遺伝子解析 (前田孚憲と共著). 岡大資生研年報 No. 1(1988.4~1992.3)：13-14 (1992).
- 7) 口絵解説図版：花の病害虫(2)シンビジウムの花のウイルス病. 植物防疫 47(3), グラビヤ 1 (1993).
- 8) 口絵解説図版：花の病害虫(3)カトレヤとファレノプシスの花のウイルス病. 植物防疫 47(4), グラビヤ 1 (1993).
- 9) 口絵解説図版：花の病害虫(4)デンドロビウムの花のウイルス病. 植物防疫 47(5), グラビヤ 1 (1993).
- 10) 熱帯野菜・果樹のウイルスについて. コメント. 国際農林水産業研究センター, 研究会報告集. No. 1：66 (1994).
- 11) 花卉園芸植物に発生する未確認の病原ウイルスの検索・同定並びに病原学的研究及びウイルス核酸と外被タンパク質の塩基配列 (前田孚憲と共著).

岡大資生研年報（1992.4～1994.3）：16-17（1994）.

12) 随想 思い出の研究雑感.

岡大広報 No. 86：39-40（1995）.